

2020年7月31日

**アムンディ・ジャパン チーフ・レスポンシブル・インベストメント・オフィサー 岩永泰典が
TCFD コンソーシアム 企画委員に就任**

アムンディ・ジャパン株式会社

アムンディ・ジャパン（東京都千代田区、代表取締役社長：ローラン・ベルティオ）は、2020年6月8日のTCFD総会決議にて、当社、チーフ・レスポンシブル・インベストメント・オフィサー 岩永泰典がTCFDコンソーシアムの執行機関である企画委員会の委員に指名され、就任したことをお知らせいたします。

責任投資のパイオニアであるアムンディは、設立以来の信念として、当社の投資によって社会や地球環境にインパクトを与えることを考慮し、環境・社会・ガバナンス（ESG）の統合が投資プロセスの核と考え、特に気候変動への対処を優先事項のひとつと致しております。

アムンディ・ジャパンは、2015年にESGリサーチ部を設立し、新たな社会への公正な移行を提言するため、環境省、経済産業省、金融庁など政府が主導する様々なイニシアチブに積極的に参加しています。

当社は、2018年から経産省のTCFD研究会に参加し、2018年12月に発行された日本企業の気候変動情報の開示を促進するためのTCFDガイダンスの作成に加わりました。また昨年、TCFD提言に賛同する企業や金融機関等が一体となって取組を推進し、企業の効果的な情報開示や、開示された情報を金融機関等の適切な投資判断に繋げるための取組について議論する場として設立されたTCFDコンソーシアムに参画し、金融業界を代表するコンソーシアムの企画委員会のメンバーとして活動してまいりました。岩永は、本年7月31日に発行されたTCFDガイダンス ver.2の作成に貢献致しました。

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）は、FSB（金融安定理事会）の主導で2015年に設立されました。アムンディは、設立時からTCFDのサポーターになっております。日本におけるTCFDサポーターの数は285機関[※]を超え、2019年5月の調査以降、日本はイギリスとアメリカを超えるTCFDの最大の貢献国となっています。

アムンディ・ジャパンは、今後とも企業と金融機関の間の建設的な議論を通じてグリーンファイナンスを推進してまいります。

※ 出所 TCFD コンソーシアム 2020年6月26日時点

アムンディについて

アムンディはフランス・パリに本拠を置き、世界 6 都市の主要な運用拠点^{※1}を通じて約 180 兆円^{※2}の資産を運用する、欧州 No. 1^{※3}、世界トップ 10^{※3}の資産運用会社です。2015 年 11 月ユーロネクスト・パリ市場に上場し、世界 37 の国・地域の事業拠点で競争力の高い運用ソリューションを提供しています。アムンディの一貫した目標は、日本でもグローバルでも、お客さま本位のビジネスの実行で、個人投資家および機関投資家に対し、革新的で透明性の高い運用ソリューションの提供に努めています。

アムンディ 信頼されるパートナー

日々、お客さまと社会のために

公式ウェブサイト：amundi.co.jp

- 1 主要運用拠点：ボストン ダブリン ロンドン ミラノ パリ 東京（アルファベット順）
- 2 運用資産額は、2020年3月末日現在。約1兆5,270億ユーロ、1ユーロ=119.55円で換算
- 3 出所：インベストメント・ペンション・ヨーロッパによる資産運用会社トップ500社（2020年6月版、2019年12月末の運用資産額）に基づく。

本件に関するお問合せ先：アムンディ・ジャパン株式会社 広報室

e-mail：pr@jp.amundi.com

直通：03-3593-5700/9019

R2007052